

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

| | | | | |
|------------|-----------|----------|-----------------|------------|
| 評価対象事業 | | 評価者 | 文化人権課担当課長 石川 雅之 | |
| 共創-20 | 実施事業 | 文化行政推進事業 | 自治事務 | 主管課 文化人権課 |
| | まち・ひと・しごと | | 法定受託事務 | 関連課 |
| 総合計画上の位置付け | 分野 | 文化 | 施策の方針 | 文化活動の支援・推進 |

1 事業の目的

| | |
|----|-------------------------------------|
| 対象 | 市民等 |
| 意図 | 鎌倉の文化の質的向上と豊かな市民生活の創造を図るため。 |
| 効果 | 市民をはじめとする多くの人々が集い、事業を通じ文化活動の活性化を図る。 |

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

| |
|---|
| ・小中学生を対象に鎌倉ゆかりの文化人、芸術家等による出前授業を行った。 ・旧前田邸の管理業務を行った。 ・市民文化祭の展示部門として美術・写真・書道の公募展と鎌倉彫・華道等の団体展を行うとともに舞台行事部門として市民団体による音楽及び演劇等を行った。 |
|---|

3 事業費等基礎データ

| データ区分 | 29年度(2017年度)決算 | | 30年度(2018年度)決算 | | データ区分 | 01年度(2019年度)当初予算 | | 備考 |
|--------|----------------|----------|----------------|---------------|----------|------------------|----------|----|
| | 人口等の | 人口 | 176,466人 | 176,308人 | | 人口 | 176,436人 | |
| | 世帯数 | 81,150世帯 | 81,763世帯 | 世帯数 | 82,444世帯 | | | |
| | 事業の対象者数 | 35,606人 | 34,896人 | 事業の対象者数 | | | | |
| 運営資源状況 | 決算値(千円) | 8,673 | 8,914 | 当初予算(千円) | 11,848 | | | |
| | 国県支出金 | | | 国県支出金 | | | | |
| | 地方債 | | | 地方債 | | | | |
| | その他 | | 110 | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 8,673 | 8,804 | 一般財源 | 11,848 | | | |
| | 人員配置数 | 2.0 | 1.5 | 人員配置数 | 2.5 | | | |
| 事業経費運営 | 人件費(千円) | 15,110 | 11,939 | 人件費(千円) | 19,535 | | | |
| | 総事業費(千円) | 23,783 | 20,853 | 総事業費(千円) | 31,383 | | | |
| | 市民1人当りの経費(円) | 135 | 118 | 市民1人当りの経費(円) | 178 | | | |
| | 対象者1人当りの経費(円) | 668 | 598 | 対象者1人当りの経費(円) | | | | |

4 評価結果

「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

| | | |
|-----|-------------------------|---|
| 効率性 | 事業費に削減余地はないか | 1. ある |
| | 関連・類似事業との統合はできないか | 2. 統合に向けた検討は可能 |
| 妥当性 | 事業の実施に対する市民ニーズはあるか | 3. 変わらずにある |
| | 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい | 3. 廃止・休止による影響は大きくある |
| | 今後も市が実施すべき事業か | 4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能 |
| 有効性 | 事業の成果は得られているか | 2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である |
| | 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい | 3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している |
| 公平性 | 受益者負担は公正・公平か | 負担導入済 -1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある |
| 協働 | 市民等と協働して事業を展開しているか | 協働実施済 -2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市民文化祭企画運営委員会、市民団体 |

| | | | | | |
|----------|---------------------|------------|-----|------------|---|
| 事業内容の方向性 | a: 事業内容を見直す | 見直し の種類 | 拡大 | 見直し の内容 | 既存事業の運営方法等を見直すとともに、新たに文化事業として鎌倉版フィルムコミッション制度を早期に構築し、運営を目指す。 |
| | b: 事業内容は現状通りとする | | 縮小 | | |
| | c: 事業を休止又は廃止する | | その他 | | |
| | d: 他事業と統合し、本事業は廃止する | | | | 事業へ統合 |

| | | | |
|----------|-----------------|--------------------|--|
| 予算規模の方向性 | A: 予算規模を拡大する | 事業内容・予算規模の方向性設定の理由 | 既存事業の見直しを継続して取り組む。 平成30年度から鎌倉子ども能を実施し、また、鎌倉版フィルムコミッションの制度構築の検討を進めている。鎌倉版フィルムコミッションについては、市の財政負担が必要とならないような仕組みとすることを検討している。 |
| | B: 予算規模は現状維持とする | | |
| | C: 予算規模を縮小する | | |

| | |
|-------------------|---|
| 総評(評価に対する考え方、根拠等) | 効率性については、事業費等の見直しの余地があることから、「削減余地」は「ある」とした。妥当性については、平成20年度以降指標値を超える市民等が文化行政推進事業を通じ文化・芸術に親しんでいることから、「市民ニーズ」「廃止・休止による影響」は「ある」とした。有効性については、工夫の余地が認められるため、「事業の成果」は「概ね出ているが、更なる努力が必要」とし、「上位施策に向けた貢献度」は多くの観覧者、参加者があることから、「一定程度貢献している」とした。協働については、文化行政推進事業の中で最も観覧者数等の多い鎌倉市民文化祭を企画運営委員会と共に行っている。今後も事業手法等を検討し費用対効果を考慮しながら、事業を通じ、より多くの市民の文化活動の活性化に資するよう取り組んでいく。 |
|-------------------|---|

| | | |
|--|--|-------------------|
| 平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む) | <ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭について市と市民の役割等について整理しつつ、さらに事業費等の見直しを進める。 旧前田邸の活用には耐震改修やバリアフリーのための改修等、多額な費用の支出を前提としているため、それに見合う具体的な文化的活用策が見い出せていない。 | |
| 課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組 | <ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭について市と市民で構成された企画運営委員会と協議しながら、事業費等の見直しを進めた。 旧前田邸については、活用に向けた有効な手法等の情報収集に努めた。 | 解決 一部解決 未解決 |
| 未解決の課題、新たな課題とその理由 | <ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭について市と市民の役割等について整理しつつ、さらに事業費等の見直しを進める。 鎌倉版フィルムコミッション制度を早期に構築し、運営を目指す。 | |

他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

| | | | | | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 比較事項 | | | | | | | | | |
| 団体名 | | | | | | | | | |
| 他市実績 | | | | | | | | | |

| | |
|----------------------|--|
| 当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方 | |
|----------------------|--|

事業実施に係る指標

| 指標の内容 | 観覧者数(年間) | | | | | | 単位 | 人 | 指標の傾向 | 備考 |
|---|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---|-------|----|
| 当該指標を設定した理由 | 年次 | H26(2014) | H27(2015) | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019) | | | |
| より多くの市民等に文化芸術に親しんでもらうため。(H30実績内訳:文化祭32,434、ようこそ先達1,504、若手アーティスト293、子ども表彰10、こども能180、パプロバ資料展326、角野栄子さん記念上映会149) | 目標値 | 29,500.0 | 29,500.0 | 29,500.0 | 29,500.0 | 29,500.0 | 29,500.0 | | | |
| | 実績値 | 42,481.0 | 43,281.0 | 35,354.0 | 35,606.0 | 34,896.0 | | | | |
| | 達成率 | 144.0% | 146.7% | 119.8% | 120.7% | 118.3% | | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方 | ここ数年目標値を上回る結果となっているが、観覧者数の多い市民文化祭については、運営スタッフや出演団体の高齢化・固定化により毎年類似した催しになっていることから減少傾向にあると考えられるので、新たな視点での企画や様々なツールを利用した広報などを検討していく。 |
|-----------------------|--|